

施策	2201 公園緑地の維持・整備						
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	無	受益者負担	適正	
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有	
対象	市民全般						
施策が目指す姿	つがの里の公園拡充や都市公園等の適正な維持・管理を進めて、生活環境の充実を図る。						
成果指標	一人当たり都市公園面積...5年間で12.4㎡(現状値11.7㎡)						
目 標 達 成 状 況			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	成果指標1 [ m <sup>2</sup> ]	予定	11.70	11.80	12.00	12.20	12.40
		実績	11.44	11.61	11.63	11.97	12.07
	成果指標2 [ ]	予定					
		実績					
	成果指標3 [ ]	単位コスト					
		予定					
	成果指標4 [ ]	実績					
		単位コスト					
	トータルコスト (千円)	予定	654,626	779,433	529,481	452,628	436,421
実績		640,740	801,397	455,444	470,652	443,334	
内 部 評 価	貢献度	「居住環境の整備に対する市民満足度」を向上させるには、都市公園の整備・管理及び老朽化した公園施設の改修が必要である為、本単位施策の目標達成度による貢献度は高い。					
	達成状況	新規都市公園整備は進んでおらず目標値には至っていない。ただし、開発等で帰属された公園面積を含めると1人当たり14.15㎡であり目標を達成してる。					
	課題	本市の公園については、供用開始より永年経過した公園が多く施設の老朽化が進んでいるため、計画的な維持修繕が必要である。					
	取組方針	老朽化した公園施設については、公園施設長寿命化計画が策定されたので計画的な維持修繕を行っていく。また、公園施設の調査点検を強化し、適切な公園管理を図る。					
外 部 評 価	<p>生活環境の充実を図る上で、公園緑地は市民の憩いの場として必要な要素であり、各運動公園は施設利用に加え、ランニングや散歩などの多くの方に利用されているが、それ以外の都市公園などは以前と比べ、利用者が減少している印象を受ける。成果指標として一人当たり都市公園面積を挙げているが、むしろ、市民ニーズに応えた、公園に対する満足度を向上させて行くべきであると思われ、今後、指標設定の際には一考願いたい。</p> <p>なお、公園利用促進のため、トイレを清潔に保つことや遊具等公園施設の安全性確保に努めていただきたい。</p> <p>また、つがの里の公園整備については、十分に費用対効果等も検証し、慎重に進めるべきものと考えます。</p>						
単 位 施 策 達 成 の た め の 事 務 事 業	事業コード	名 称				トータルコスト(千円)	達成度
	440301	栃木総合運動公園管理運営委託費				176,773	100
	443101	栃木総合運動公園施設整備事業費				17,032	100
	443601	皆川城址公園整備事業費				6,241	100
	445902	大平街区公園等施設改修事業費				1,690	100
	720501	公園の長寿命化計画策定事業費				39,622	100
	748101	つがの里総合公園拠点整備事業費				9,539	100
	748201	太平山遊覧道路桜更新事業費				4,097	100
	440101	都市公園等管理費				122,553	99
	445401	生垣設置奨励補助金				807	43
440503	藤岡渡良瀬運動公園管理費				15,155	1	



## 平成29年度 単位 施策評価表 補表

施策	2201 公園緑地の維持・整備		
区分	妥当性	妥当	上位施策の目標を達成するために有効である。
	コスト削減の余地	無	公園施設等の維持管理が主であるため、コスト削減の実施は困難である。
	受益者負担	適正	使用料等の負担割合は適正である。
	上位貢献度	有効	基本施策の成果指標達成には貢献度は高い。
	類似事業の有無	無	代替事業はない。
	成果向上の余地	有	今後適切な事業を行うことで、公園の適正な維持管理が見込まれる。
内部評価 【H29年度分】	貢献度	都市公園の整備・適正管理及び老朽化施設の改修を進めることが、本単位施策の目標達成度向上になるため貢献度は高い。	
	達成状況	<p>「市民ニーズを反映させるものとして公園に対する満足度についての指標を検討するべき」とのご指摘をいただいているが、指標化のためには毎年度の市内全公園の利用実態を利用者数調査およびアンケート調査により把握することが必要であり、現在の管理する公園数を勘案すると市内全公園の調査実施が難しい状況である。</p> <p>平成29年度に公園施設の長寿命化計画の策定が完了し、今後は、この計画に基づき老朽化した公園施設の計画的な維持修繕を進め、計画達成状況に対する評価を予定している。</p>	
	課題	平成27年度末現在、供用開始後30年以上経過した公園が全体(298箇所)の2割に達しており、今後公園施設の老朽化が見込まれるため、計画的な修繕を必要とする。	
	取組方針	平成29年度に策定された公園施設長寿命化計画に沿って、計画的な維持管理を進める。また、今後定期的な施設点検の実施を予定している。	
内部評価 【前期5年分】	貢献度	一人当たり都市公園面積は年々増加しており、上位施策目標達成のため貢献度は高いと思われる。	
	達成状況	新規都市公園の整備は進んでいないが、開発公園等の帰属により市が管理している公園全体では目標を達成している状況である。	
	課題	近年、公園緑地については、維持管理が重要となっており、計画的に新規公園を整備することが難しい状況である。また、供用開始後永年経過した公園が今後益々増加することから、計画的な維持管理が必要と思われる。	
	取組方針	新規公園等の整備については、難しい状況であるが計画的な事業推進に努める。また、既存公園施設について重点的・効率的に長寿命化対策を実施していく。	